



発行所

一般社団法人 全日本木材市場連盟
編集・発行人 京柱本 楽修
東京都文京区後楽1-7-12
〒112-0004 林友ビル6階
電話 03(3818)2906
FAX 03(3818)2907
毎月1回1日発行
定価 年3,000円
(会員は会費に含まれています。)

■全市連第71回定期総会・大阪大会を開催

当連盟は6月1日(月)、第71回定期総会を東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で開催した。会員の出席は、代理出席、委任状等を含めて120名。来賓として林野庁谷村栄二次長、林野庁間島重道木材産業課長、日本林業協会島田泰助会長、農林漁業信用基金石田良行総括理事、日本住宅・木材技術センター宮澤俊輔理事長、日本木材総合情報センター篠田幸昌理事長ほか多くの方々にご出席頂いた。

大会では全市連会長功労者表彰状の贈呈のほか令和7年度の事業報告、同決算が決議された。役員の新任期満了に伴い新役員を選任を行い、守屋会長(株)仙台木材市場(株)が退任し、新会長には伊藤正雄(株)大阪木材相互市場(株)が選任された。次期定期総会は来年東京で開催することを決定し、大会宣言を採択した。

【開会宣言・開会の挨拶】

飯島義雄副会長(関東支部長、東京中央木材市場(株))が昨年総会以降の会員関係物故者への黙祷の後、定期総会の開会を宣言した。

守屋会長は開会挨拶で出席会員及び来賓への謝意、全市連功労者表彰の受賞者への祝辞を述べ、木材産業を取り巻く情勢は、近年の住宅着工戸数の減少傾向に加えて、本年はイランへの攻撃以降、原油価格、石油関連製品、住宅資材等の価格高騰や供給の目詰まりが、住宅等の建築工事に影響を及ぼすなど、大変厳しい状況に直面している。先のウッドショックの際に1970年代のオイルショックのような騒動が起きなかったのは木材市場の供給体制があったからと考えている。今回も大変だと思いが、林野庁のご指導とご支援をいただきながら安定した木材の供給に向けて取り組んでいきたい。昨年林野庁の補助事業で地域の広葉樹材利用の取組を行った。地域の広葉樹を材として利用していくというものは世の中の流れである。仙台市と伐採され

総会・東京大会
全日本木材市場連盟



守屋会長挨拶

た街路樹の利用に向けた取組をすすめているところ。伐採された街路樹の材としての利用に役立てていきたい。本日は、多くの重要なことをご審議いただくことになっている。最後までご審議よろしくお願いと述べた。

【来賓祝辞】

林野庁谷村栄二次長から、第71回定期総会開催への祝意、功労者表彰受賞者への祝意に続き、「本年は我が国の森林・林業・木材産業施策の基本的な方向を定める森林・林業基本計画を見直す5年に一度の重要な年。この分野に関わる全ての方々に将来に希望を持っていただける計画となるよう、関係者の皆様に御意見を頂戴しながら検討を進めており、間もなく閣議決定の運びとなる。今回の見直しでは、国産材の供給拡大と幅広い需要の創出を進め、強靱なサプライチェーンを構築することで森林資源の循環利用を確立し、森の国・木の街の実現を牽引していくことを柱の1つとしている。

国産材の供給量については、今後は4,000万m³へと拡大する目標を掲げ、大径材や広葉樹材の内装材としての活用なども含め、木材の価値を高めることに力を入れることとしている。

また、木材の利用が2050年ネット・ゼロの実現に向けて経済界においても期待や関心が高まる中、この4月から、事業者が温室効果ガスの排出量を「算定・報告・公表」するSHK制度において、自社ビルを木造で建てた場合にその炭素貯蔵分を差し引くことができる運用が始まった。また、今国会において建築物のライフサイクルアセスメント法律が

審議されるなど、環境貢献という観点から企業にとって木材を使うことが自らの価値を高め、木材の新たな価値を生む世の中になってきた。

こうした情勢の下で、木材利用の拡大を通じた持続可能な社会の実現に向けて、生産・流通・需要の各段階の関係者がしっかりと連携をして取組を進めていくことが重要。貴連盟の皆様は今後の一層の御活躍に大いに期待している。

中東情勢については、現在、政府をあげて燃料油や石油製品等の安定供給の確保に向けた対応を進めているが、現場では希望された量の資材を調達できない方もいらっしゃるかと認識している。このため林野庁では、関係団体や個社と情報交換等を行い実態把握を進めるとともに相談窓口を設け、支障が生じているケースについては、経済産業省・国土交通省とも連携して、1つ1つ丁寧なその解消に取り組んでいる。燃油や石油製品等の調達に御懸念やお困りごとがあれば、早めに御相談いただくようお願い申し上げます。また、原材料の買占めやこれらの動きに乗じた木製品の偏った供給などによって需給の安定が損なわれることのないよう

定期総会・東京
社団法人全日本木材市場連盟



林野庁谷村次長祝辞

う、適切な対応への御協力をお願いする。」等のご祝辞をいただいた。

日本林業協会島田会長からは、第71回定期総会開催への祝意、功労者表彰受賞者への祝意に続き、「森林の温暖化防止における役割や低炭素社会に向けた木材の積極活用などに対する関心が日本だけでなく世界的に高まってきている。一方で、我が国では、低迷する立木価格のもと森林所有者の経営意欲が失われ、伐つても植えられず荒廃する森林が増加するなど大きな問題を抱えており、現在検討中の森林・林業基本計画では、合理的な価格形成に向けた強靱なサプライチェーンの構築という項目が提示されている。森林所有者が意欲を持って持続的な森林経営に取り組むことができる価格形成を目指すには、林業関係者と需要者が一体となって取り組むことができる仕組みが必要。SDGsの流れが社会全体に浸透する中、持続性の確保された森林から生産された木材の価値を評価し、企業の社会的責任としてそれを利用していききたいという需要者・企業等も増えてきており、林業者と需要者が連携した取り組みを行うていくための条件が整ってきている。持続性の担保された木材が当たり前に使われる社会を構築する上で、日本の木材流通の中心的な役割を果たしてきた全市連の皆さんに対する期待は大変大きい。全市連の皆さんには、我々林業団体の中心として、新たな木材流通・サプライチェーンの構築に積極的な活躍・ご協力をお願いできればと考えている。」等のご祝辞をいただいた。



日本林業協会島田会長祝辞

【議事】

議事は安部雄祐奥羽支部長（株）山形城南木材市場）を議長にして進行。

第1号議案 令和7年度事業報告及び決算承認の件

令和7年度は、木材利用促進に向けて、木材アドバイザー養成講習会の開催や各種の普及活動を実施した。国産材の需要拡大、安定供給に向けて、全国優良木材展示会、国産材地方展示即売会、国産材需要拡大製材品特別展示大会、国の補助事業である需給情報連絡協議会・顔の見える木材安定供給体制構築事業、合法木材証明のための研修を実施した。合法証明木材及び木質バイオマス供給事業者を認定した。木材需給動向調査の実施、原木部会・製品部会の開催、会員への情報提供を行った。改正物流効率化法の施行、取適法の施行、林業・木材産業における適正取引ガイドラインの実施について林野庁等と意見交換を行い、会員への情報提供等を行った。福祉共済事業を実施した。

令和7年度決算は、経常収益計25,885千円余、経常費用計25,662千円余となり、当期経常増減額は25

9千円余の増となった。定款第22条の規定に基づき、萩原宏監事より決算等の内容は適正であるとの監査報告を行い承認された。

第2号議案 令和8年度事業計画及び収支予算報告の件

3月の理事会で承認された事業計画及び収支予算の概要を報告。

第3号議案 令和8年度会費割当ての件

令和8年度会費割当てが承認された。

第4号議案 役員改選の件

役員任期満了に伴い新たに理事・監事が選任された。守屋長光会長（株）仙台木材市場）が退任し、新会長には伊藤正雄理事（株）大阪木材相互市場）が就任することが承認された。（役員名簿別掲）

第5号議案 次回定期総会開催地の決定

来年の定期総会を東京で開催することが承認された。

大会宣言の決議

岡本剛中国支部長（株）岡山相互木材市場）より次の大会宣言案を提案し、満場一致で採択された。

私たち全市連会員は、本日ここに第71回定期総会・東京大会を開催した。

我が国の人工林資源が本格的な利用期を迎える中、資源の循環利用を通じて、地域経済・社会の発展、国土保全、SDGsや脱炭素社会の実現に貢献するためには、木材利用の拡大、国産材の安定供給体制の整備、皆伐・再造林の推進、担

い手の育成等に林業・木材産業が一体となつて取り組むことが求められている。

一方、我が国経済の先行きや木材需給を取り巻く情勢は、中東情勢が不安定化

し、原油価格や住宅資材の高騰などが住宅等の建築工事に影響を及ぼすなど、厳しい状況に直面している。さらに、これが川上、川中へ波及することを危惧している。

木材流通において大きな役割を果たしている全市連会員は、経験と実績を活かし、的確な情報収集と提供に努めるとともに、関係団体と連携して需給の変化に柔軟に対応できる安定供給体制づくりを推進することが重要である。

このため、政府に対し、石油製品の需給安定化及び物価対策、木材利用拡大、木材製品の適正な価格形成、皆伐・再造林と担い手対策を強く要請することも、自ら、次の事項に積極的に取り組む。

○震災・台風・森林火災等の自然災害からの復興・再生に向け、地域材の利用拡大等に取り組もう。

○木材の価値向上に取組み、山元に利益を還元できるサプライチェーンの構築を通じて、海外情勢の影響を受けにくい木材の需給構造を構築しよう。

○木の良さが伝わる木造化や内装木質化に取り組み、「森の国・木の街」の実現に貢献しよう。

○改正クリーンウッド法の下、合法性証明木材及び木質バイオマス証明の信頼性の維持・向上に取り組もう。

○JAS製材品等、品質の確かな木材製品の需要拡大と供給体制整備に取り組みよう。

○木の良さを広める人材養成に取り組みよう。

○労働安全対策を強化し、災害ゼロを目指す。

○労働安全対策を強化し、災害ゼロを目指す。

○労働安全対策を強化し、災害ゼロを目指す。

○労働安全対策を強化し、災害ゼロを目指す。

以上、宣言する。

令和8年6月1日

一般社団法人全日本木材市場連盟

第71回定期総会・東京大会

【閉会の言葉】

二宮政文副会長（四国支部長、(株)大木坑木(有)）の「関係者の皆様と力を合せて、この厳しい状況を乗り越えてまいりましょう。」との挨拶により閉会した。

改選役員名簿

○会長 伊藤正雄(株) 大阪木材相互市場

○副会長 東北支部長守屋長光(株) 仙台木材市場、関東支部長長越芳男(株) 茨城木材相互市場、関東支部長飯島義雄(東京中央木材市場(株))、東海支部長鈴木善一朗(株) 東海木材相互市場、近畿支部長菅生康清(桜井木材(協))、四国支部長浜口伸一(株) 徳島中央木材市場、九州支部長多田啓(株) アサモク

○理事(支部長) 奥羽支部長安部雄祐(株) 山形城南木材市場、北陸支部長小林太(株) 富山合同木材市場、中国支部長岡本剛(株) 岡山木材相互市場

○理事 鈴木雄一郎(北海道木材市場(協))、成田剛(青森県森林整備事業(協))、工藤茂丸(秋田中央木材市場(株))、鈴木賢二(南東北木材(株))、安藤裕一(株)ミトモク、金子利雄(株) 宇都宮総合木材市場、阿部鐵則(千葉県木材市場(協))、吉田貞裕(株) 吉貞、中村司(東京新宿木材市場(株))、近藤

藤嗣(新東京木材商業(協))、西村信洋(株) 東京木材相互市場、大島誠(株) 東京第一木材市場、氏橋武史(東京木材市場(株))、木曾川靖一(丸宇木材市売(株))、杉田理之(ナイス(株))、伊藤元二(株) 横浜連合木材、齋藤豊美(福井県木材市売(協))、勝野智明(木曾官材市売(協))、吉田芳治(岐阜県銘木(協))、小森淳史(株) 東海木材相互市場、西垣貴文(西垣林業(株))、小杉智一郎(株) 東海林材市場、中川浩之(中川林業(株))、久保覚(松阪木材(株))、藤本純司(株) 関西木材市場、名田健吾(神戸木材市売(協))、貝本博幸(奈良県銘木(協))、山下薫(真庭木材市売(株))、豆原義人(株) 津山綜合木材市場、石谷樹人(石谷林業(株) 智頭原木市場、三吉庸善(株) 出雲木材市場、小林方之(株) 福山中央木材市場、二宮政文(大木坑木(有)) 宇和島出張所、尾崎徳七(協) 高知県木材市場連盟、樋口哲也(株) 太平洋木材市場、伊東貴樹(株) 伊万里木材市場、田代洋典(株) 長崎県北木材市場、今坂幸一(熊本木材(株))、安部省祐(大分県木材(協) 連合会、田中昇吾(株) 九州木材市場、外山正志(都城地区製材事業(協))、桃溪崇(関東木材センター協会)、草野洋(一社) 全国木材市売買方組合連盟、田口護(一社) 全国木材組合連合会、矢野彰宏(一社) 全国素材生産業協同組合連合会

○専務理事 柱本修(一社) 全日本木材市場連盟

○監事 萩原宏(学識経験者)、栗林一郎(株) 相模原木材センター

新旧会長挨拶

この度、(一社) 全日本木材市場連盟会長を退任いたしました。

令和4年5月に就任以来、4年にわたりご支援とご協力を賜りましたことを心から感謝し御礼申し上げますとともに、皆様のご健康とご活躍を心から祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。 守屋長光



守屋長光前会長

この度、(一社) 全日本木材市場連盟会長に就任いたしました(株) 大阪木材相互市場の伊藤正雄でございます。

もとより微力ではありますが、業界発展のため専心努力する所存でございますので、皆様方のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。 伊藤正雄



伊藤正雄新会長

令和7年度全市連功労者会長賞表彰者

令和7年度の全市連功労者会長賞表彰者は以下の通り。(敬称略)

○市場関係(34名)

柏倉正克(福島県郡山地区木材製材(協))、大島誠(株) 東京第一木材市場、飯島秀圭(株) 茨城木材相互市場、横坂亜希子(ナイス(株) 前橋市場)、大竹寛司(千葉県木材市場(協))、上山實(埼玉林材市場(株))、西村信洋(株) 東京木材相互市場、中山哲志(ナイス(株) 相模原市場)、上柳麻里子(同沼津市場、鈴木善一朗(株) 東海木材相互市場、西垣貴文(西垣林業(株))、池端謙太(ナイス(株) 小牧市場)、渡邊正彦(西垣林業(株) 三重事業所マルタピア)、海住知彦(同 三重事業所美杉木材市場)、天野宏文(桜井木材(協) 原木市売部)、岡本剛(株) 岡山木材相互市場、山内大輔(ナイス(株) 岡山市場)、近藤晃(岡山県森林組合連合会 勝山支所)、森勝哉(同 新見支所)、富谷吉優(同 新見支所)、田口晶浩(同 勝山支所)、北山尚希(同 勝山支所)、坂田信和(株) 徳島中央木材市場、村上博(株) 宇和原木市場、尾崎徳七(協) 高知県木材市場連盟、多田啓(株) アサモク、遠山滉大(熊本木材(株) 上球磨支店)、芹川美香(同) 渡邊光頭(肥後木材(株))、竹田有希(肥後木材(株) 人吉支店)、石松保史(日田木材市場(株))、瀬川りか(同)、高村和昭(同)、魚返洋希(同)、

○問屋関係(2名)



全市連功労者会長表彰受賞者

奥岡陸(トウカイシステムズ(株))、
梶慎一(材惣木材(株))
【記念講演】

定期総会終了後には、恒次祐子東京大
学大学院農学生命科学研究科教授から
「建物の内装木質化と人のウェルビー
イング」と題したご講演をいただいた。ご
講演では、内装木質化とウェルビー
イングについて研究から何が言えるのか、次

の幅広い研究事例を用いてわかりやすく
ご説明いただいた。

その1・室内環境への影響
木材の調湿効果ービニルシート内装に
比べて合板内装では湿度変化が少ない。

木材による空気浄化作用ー木材チップ
への暴露によるアンモニア濃度の低下、
木材からの揮発成分によるダニ抑制と抗
菌性

波長と放射照度による木質空間が目
優しいことの計測

その2・人の心身への影響
オフィスの実験では、内装木質化によ
り勤務者の疲労感の自覚症状が低下。オ
フィスに木製家具を導入した調査では、
天板にくり無垢単板を用いたテーブルの
方がメラミン天板のものより不快感とだ
るさの自覚症状が小さい。執務環境の調
査では、くり無垢単板の方がメラミン単
板より仕事への集中しやすさ、会話し
やすさ、アイデアの出しやすさの評価が高
い。

学校における研究事例では、既往の研
究でRC造校舎に比べて木造校舎では先
生の疲労感、生徒の疲労感、インフル
エンザによる学級閉鎖率が小さいことがわ
かっているが、その原因については更な
る研究が必要。最近の写真調査では、教
室の内装の半分、または全面に木材を使
用した場合、生徒が好きだと感じる。1
00%内装木質の教室では、明るい、あ
たたかい、清潔な、香りのありそうな、
自然な、優しい、のんびり、田舎的な
項目で評価が高く、0%内装木質の教室
では、冷たい、香りのなさそうな、人工
的な、かたい、都会的な項目で評価が

高い。従来内装の教室と内装を木質化し
た教室を用いた調査では、木質内装では
ネガティブな気分状態が緩和され、活動
量が大きい。

金融機関における調査では、木装店舗
では非木装店舗より、魅力、居心地、温
かみ、香りの項目で評価値が高い。飲食
店での調査では、内装を木質化した場所
の席の方が、内装を木質化していない場
所の席より来席人が多い。

恒次教授は、近年、内装の木造化につ
いて、病院や学校などの非住宅建築も含
めて、多くの期待の声が聞かれるよう
なった。しかし中には過度な期待もみ
られ、まだまだ研究が必要。木材利用をプ
ームで終わらせず、建築材料の妥当な選択



恒次祐子東京大学教授の講演

<参考資料> 令和8年度 主要事業量 (年度当初)

区 分	令和7年度	令和8年度	対前年度比
販売量	立木販売 986万㎡ <235万㎡>	1,004万㎡	102%
	素材販売	349万㎡	349万㎡
人工造林面積	1.09万ha	1.02万ha	94%
保育等の面積	10.3万ha	9.8万ha	96%
	うち下刈り	2.9万ha	2.7万ha
林道の新設延長	15km (19km)	18km (11km)	118% (59%)

(注1)令和7年度予定量と令和8年度予定量。
(注2)令和7年度の<>量等は実績(注報値)。
(注3)保育等には、分収造林等で実施する事業は含まない。
(注4)林道の新設延長の欄書きは当年度分、()書きは繰越分外書き。
(注5)立木販売の販売量は、立木材種であり、普通造林の伐採に係る予定量を含む。
(注6)素材販売の販売量は、丸太材種。

*主要事業量等は、中東情勢の影響や木材需給の状況により、変動することがあります。

■国有林野事業の令和8年度主要事業量

令和8年度の国有林野事業の主要事業
量は、立木販売量は約1,004万㎡(令
和7年度比102%)、素材販売は約3
49万㎡(令和7年度比100%)を予
定。樹木採取権制度については、令和8
年度は、マーケットサウンディング(調
査)を7か所、樹木採取権者の公募を1
か所で行う予定。造林付立木システム販
売については、需要拡大構想(調査)を
1箇所、公募を5か所で行う予定。

肢の一つとして位置付けるためにも、科
学的に正しい情報が必要。科学的な情報
に基づいた「木づかい」が重要と講演を
締めくくった。